

2019年8月1日

当社2件目となる自社水上太陽光発電所の建設に着手

ー 農業用ため池を利用して2,822kWを出力 ー

三井住友建設株式会社（東京都中央区佃二丁目1番6号 社長 新井 英雄）は、自社開発した水上太陽光発電用フロートシステム「PuKaTTo（プカット）」を使用した太陽光発電所運営事業（自社事業）に着手し、7月23日に安全祈願祭を執り行いました。これは、香川県木田郡三木町の農業用ため池を利用し、水上太陽光発電用フロート約9,400枚（パネル設置面積約28,600㎡）を設置し、出力2,822kWの水上太陽光発電所を建設するものです。年間発電量は約330万kWhを見込んでおり、固定価格買取制度（FIT）を活用して全量を売電します。

今回の事業は、「平木尾池水上太陽光発電所（※）」（香川県木田郡三木町）に続く、水上太陽光発電所運営事業となります。

（※）自社開発の水上太陽光フロートシステムを用いた太陽光発電所が完成（2017年11月15日リリース）



【完成イメージ図】

■施設概要

施設名称：女井間（めいま）池水上太陽光発電所

設置場所：香川県木田郡三木町池戸1237、井上250 女井間池（農業用ため池）

事業者：三井住友建設株式会社（自社運営事業）

発電出力：2,822kW（パネル出力）（パネル設置面積 約28,600㎡）

想定年間発電量：330万kWh

完成および運転開始予定時期：2019年12月（事業期間20年間）

■これまでの経緯

当社の水上太陽光発電への取り組みは、2014年に香川県農政水産部農村整備課より委託されたフロートを用いたため池での太陽光発電の実証実験から始まりました。その後、2015年に水上太陽光発電用フロートを自社開発して販売を開始、2017年に海外でのフロートシステムの販売強化に向け、台湾に現地法人となる「台湾三住建股份有限公司 (SMCC Taiwan CO., Ltd.)」を設立しました。これまでに国内5件（うち、施工中1件）、海外3件（うち、台湾2件）の採用実績があります。

■今後の展開

当社は「中期経営計画 2019-2021」における基本方針の1つとして、『事業領域の拡大』を掲げています。再生可能エネルギー事業を中心とした新規事業の拡大を実現するため、自社発電事業を推進してまいります。

加えて、当社が経営理念として掲げる「地球環境への貢献」の一環として、本事業を通じて地球温暖化対策（CO₂排出削減）に貢献してまいります。

■お問い合わせ先

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

三井住友建設株式会社

〒104-0051 東京都中央区佃二丁目1番6号

広報室 平田 豊彦

TEL:03-4582-3015 FAX:03-4582-3204

以 上